

## 令和4年度 第7回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和4年9月1日（木） 13時00分から14時00分まで

開催場所：分散型WEB会議（市長公室、第2委員会室）

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、塚平企画部長、細田リニア推進部長、塚平市民協働環境部長、高山健康福祉部長、申原産業経済部長、米山建設部長、田中危機管理部長、土屋上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、和泉議会事務局長、松下教育委員会参与、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、林企画課長

## 会議内容

## 1 理事者あいさつ

## ＜市長＞

- ・9月4日に予定していた防災訓練は中止となったが、災害に対する備えは常に必要なことであり、各部局において防災意識の向上と備えを今一度確認していただきたい。
- ・市議会において、各分科会で決算審査が始まる。決算は昨年度を振り返り、それを来年度以降の予算に生かしていくという流れの1つである。来年度予算への反映という観点を持って議員からの指摘を聞くようにしていただきたい。また、各部局において来年度以降どうすべきかを考えて、説明をしていただきたいと思う。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況については、管内での感染者数は決して少ない状況ではないが、お盆明けに比べて減少の兆しが見えてきている。これから、さまざまなイベント、行事、学校行事などが予定されているが、3年連続の中止、延期はどうしても活力を奪うことになる。現場の判断であり、何が何でも実施するというのではないが、できれば工夫をして実施する方向で検討していただきたい。また、部局長は、実施することによる職員の負担に配慮をしていただくようお願いする。
- ・飯田市のマイナンバーカードの交付率は、全国市町村1,741団体中1,337位であり、職員自身の取得だけでなく、家族の申請の手伝いをするなど、推進に努めてほしい。
- ・地域社会のDXを進めていくにあたり、マイナンバーカードの交付率が低いことで出遅れてしまうことがないようにしておくことが必要。情報社会インフラの基盤として取り組んでいく意味があるため、協力をお願いしたい。

## ＜副市長＞

- ・決算認定に向けた説明の準備をお願いしたい。主要な施策の成果説明書の中で、数字よりも成果や課題をしっかりと説明することが大事になってくる。各部局で改めて確認をしていただきたい。
- ・職員のマイナンバーカードの取得について、各部局で呼びかけをお願いしたい。また、マイナンバーカードを職員が取得することでの利便性が向上する取組がないかを含めて検討し、取得が進むようにご協力をお願いする。

## ＜教育長＞

- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況は、夏休み明けに増えたが、今週になって少し落ち着きを見せ始めてきている。音楽会、運動会、旅行行事等が予定されていることから、感染が広がらず、実施できるといい。
- ・福島県から飯田市へ来て暮らしている方が、夏休みに飯田市民プールに子どもを連れて行った際に、利用料が安く、駐車場も2時間無料で、ますます飯田市が好きになったとの話を聞いた。内にいると気付かないが、外からの声で非常に元気づけられ、嬉しく思った。

## 2 報告事項

## (1) 飯田市議会全員協議会（9/21）における報告事項について

## ◇趣旨

- ・飯田市議会全員協議会（9/21）における報告事項について報告する。

## ◇協議結果

部長会了承

### 3 連絡事項

- ・令和4年度飯田市長寿企業等顕彰事業について

### 4 閉会